

ツーピースベルト
10/10L 型・15/15L 型

取扱説明書

本説明書および注意銘板の内容を熟知しない方は、使用しないでください。また、お子様が勝手に操作されないよう、ご注意ください。

本説明書は最終のお客様までお届けください

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、本説明書をリフト本体取扱説明書と併せて最後までお読みいただき、禁止事項、使用上の注意事項、正しい操作方法などをご理解の上、ご使用ください。

また本説明書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目 次

1	安全上の注意	
1-1	本説明書での表示方法	3
1-2	取扱い全般	4
1-3	ご使用条件	4
2	ツーピースベルトについて	
2-1	特長	5
2-2	各部の名称	5
2-3	使い方	7
3	点検と保守	
3-1	日常点検	10
3-2	お手入れ	10

本取扱説明書は「ホイストと吊り具の使い方・選び方」(東京いきいきらいふ推進センター発行)、「ホイストを活かす吊具の選び方・使い方」(三輪書店メルク発行)および「ホイストと吊具の選び方・使い方」(株式会社クイリー発行)より一部引用させていただいております。

1. 安全上のご注意

1-1. 本説明書での表示方法

本説明書では、注意事項を「警告」と「注意」の二つに区分しています。

区分	危険の程度
 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷*1 を負うことがある。
 注意	取り扱いを誤った場合に、軽傷*2 を負うことがあるか、または物的損害の発生することがある。

*1 重傷とは、失明、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

*2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないが、やけど、感電などをいいます。

また、各注意文には、下記の記号がつけてあります。

記号	意味
	禁止されている行為を表します。
	発火、感電、高温などの注意を表します。
	強制を表します。

1-2. 取扱い全般

 警告	
	・他の用途に使用しない 本製品は、介護者の負担低減や要介護者の移乗支援以外の用途には使用しないでください。
	・パートナー以外の製品に使用しない パートナー用のハンガー専用の製品となります。 他製品のハンガーに使用すると転倒、落下によりけがをする恐れがあります。
	・分解、修理、改造をしない 破損、故障によりけがをする恐れがあります。
	・本説明書に記載されている使用条件以外では使用しない 1-3項に示す使用条件を遵守してください。 破損、故障によりけがをする恐れがあります。
	・漂白剤を使用しない 洗濯は手洗いで中性洗剤を使用してください。 また、乾燥機の使用は避けてください。 劣化による破損、故障によりけがをする恐れがあります。
	・上下ベルトは不適切な位置で使用しない 上部(脇)は背の中央位置、下部(脚)は大腿部の中央位置とし、バランスをよく確認しながら吊ってください。 適正位置からずれて吊った場合、転倒、落下によりけがをする恐れがあります。
	・高湿度環境下に放置しない 浴室等の高湿度環境下には放置せず、換気の良い場所で保管してください。 劣化による破損、故障によりけがをする恐れがあります。
	・日常点検を行うこと 3-2項に示す日常点検を実施してください。 問題がある状態でご使用した場合、けがをする恐れがあります。

1-3. ご使用条件

(1) ツーピースベルト (10/10L 型・15/15L 型)

1) 対象者

ベッドや車椅子での座位が比較的安定しており、頭を自分で支えることができる方

2) 適応体重 120kg まで

3) 適応身長 148～175cm

4) 使用環境 ●動作温度：0～40℃

●保存温度：-10～50℃

●ほこりの少ない直射日光の当たらない場所

5) 対象リフト パートナーリフトのみ

(BMM、BMA、ACT、ACT-W、BMU、BMP)

2. ツーピースベルトについて

2-1 特長

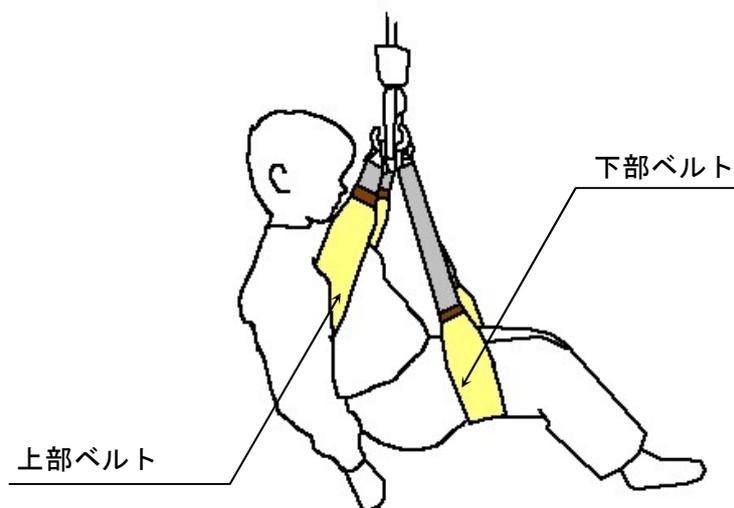
- 吊り具はその形態から大きく分けて①脚分離型、②ベルト型（バンド型）、③シート型です。ツーピースベルト（10型・15型の2種類）はベルト型の最も容易に着脱できる多用途のものです。
- 吊上げた時、臀部が開口していますので装着したままトイレ動作を容易に行うことができます。
- 下部ベルトだけで足を上げると①足のうっ血防止、②靴下のはかせが容易です。
- 入浴用に使用する場合は、上肢のしっかりした人に適用できます。（ただし、吊り具のクッション（スポンジ）部分に水を含みますので十分な乾燥が必要です）
- 2種類のツーピースベルトは体形・体力に合わせて選択します。
例）10型上部と15型下部ベルトの組み合わせはよく使われます。
- 最も容易に介助できるため、短時間の間だけ吊上げておく下記の作業例があります。
 - ◇ ベッドから車椅子、浴槽、シャワーへの移動
 - ◇ 身障者の下に敷き込むシート型吊り具（6点式・4点式等）の手際をよくします。

2-2 各部の名称

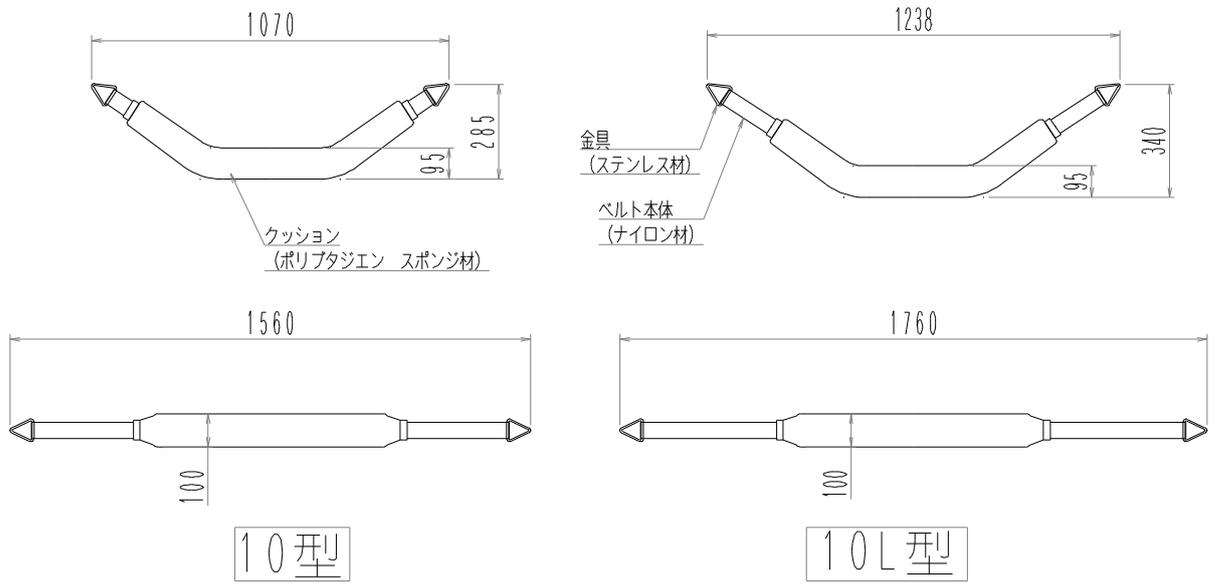
（1）ツーピースベルト

種類；10/10L型・15/15L型の4種類で、上部ベルト・下部ベルトがあります。

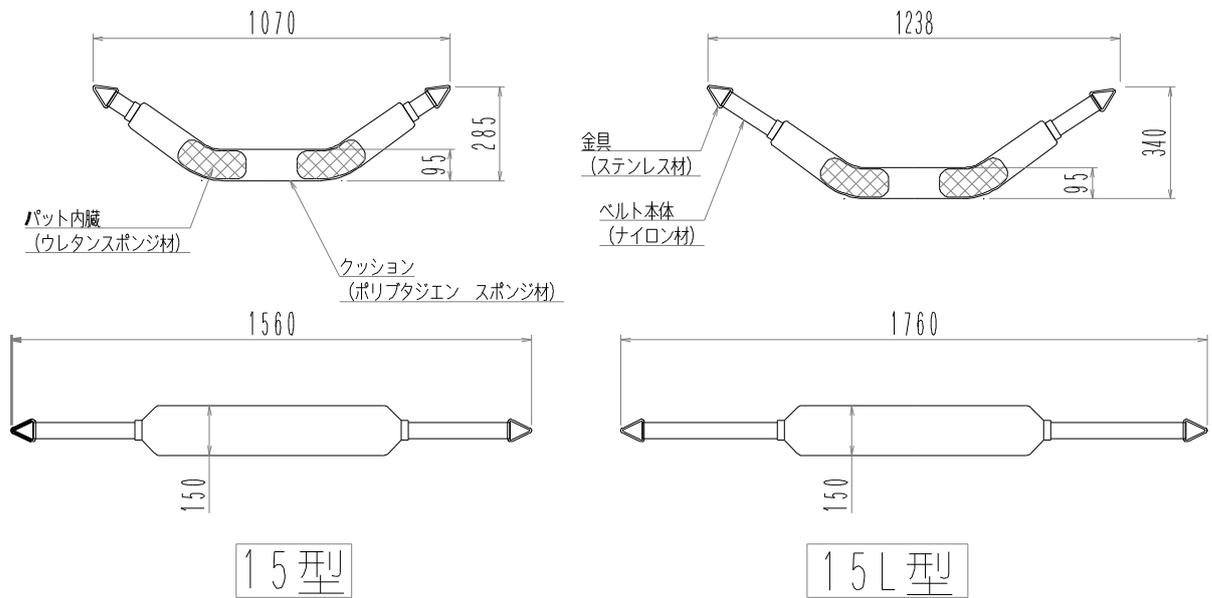
ツーピースベルトの使用状態



10型



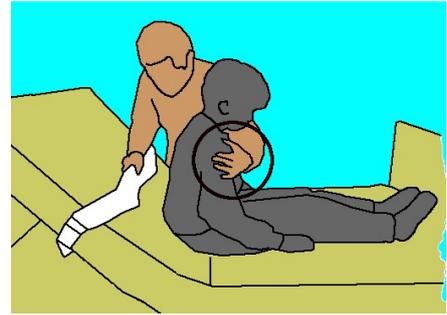
15型



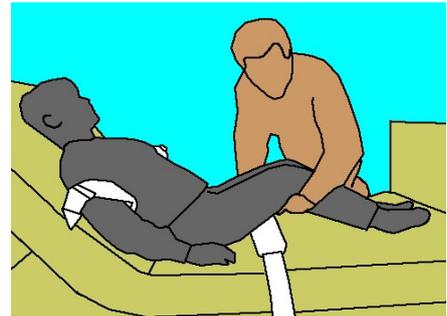
2-3. 使い方

(2) 背上げ機能のあるベッドでの着脱

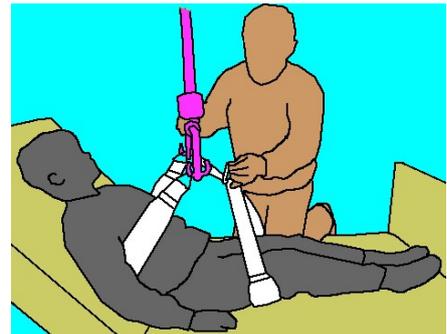
- 1) 背上げ機能を利用して、ベッドを起こします。身体を前にかがませて上部ベルトを背中にあてます。



- 2) わきの下にベルトを通します。ベルトの左右の長さが均等になるようにします。長さのバランスが悪いと吊下げた時、身体が傾いてしまいます。

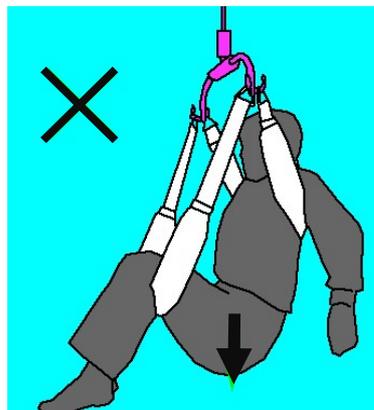


- 3) 膝を少し立てて下部ベルトを通します。左右の長さを均等にします。

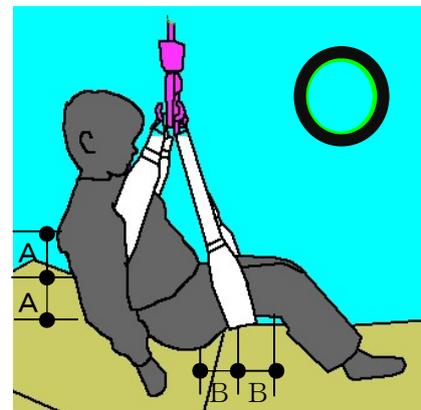


- 4) ハンガーにかけてベルトをかけて吊り上げます。膝は少し立てておき、下部ベルトができるだけ大腿部の中央にくるようにします。下部ベルトが膝の裏に近い位置で吊り上げてしまうとお尻が落下した姿勢になってしまいます。

- 5) 上部ベルトはできるだけ背中中の中央、下寄りになるようにします。上部ベルトの位置が、脇の下に近い位置で吊り上げると肩の負担が大きく、痛みを感じることもあります。



悪い姿勢の例



正しい吊下げ姿勢

- 6) はずす手順は、装着と逆になります。

(3) 車椅子上での着脱

車椅子上での着脱は、背上げ機能のあるベッド上での着脱と同じです。

(3) 車椅子等への着座方法

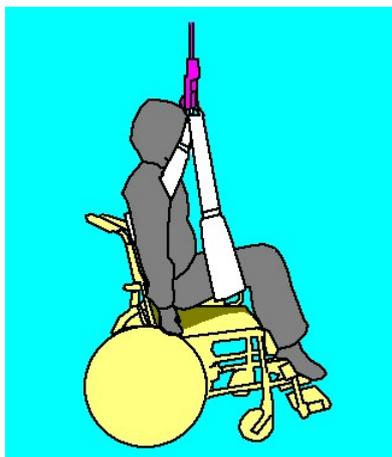
車椅子等に座る時は、姿勢を正しく調整し、深く座らせることが大切です。深く着座させる方法には、下記の方法があります。

1) 身体を立てた姿勢で吊ります。

可能な限りたてた姿勢で吊り、車椅子に着座させると自然に深く座ることができます。

2) 膝を押しながら着座させます。

本人の正面から、片手または両手で膝を押しながら降ろします。膝を下に押すようにすると姿勢が立って深く着座できます。



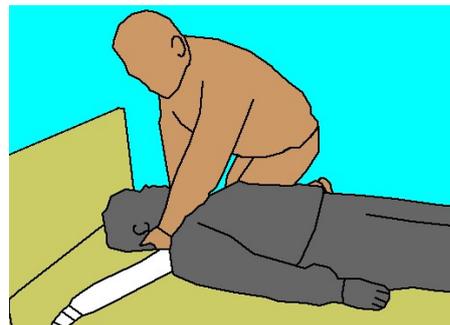
3) 車椅子のキャスターを上げます。

車椅子のステップバーを踏んで後方に傾斜させ、車椅子の背もたれにこすらせながら降ろします。

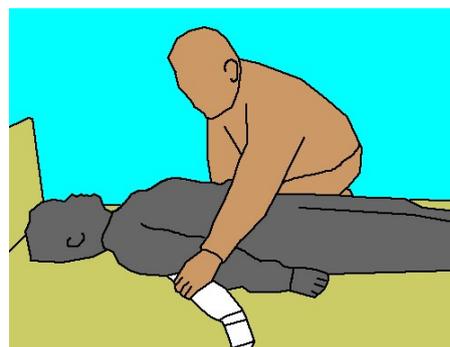


(4) 平らな状態からの着脱

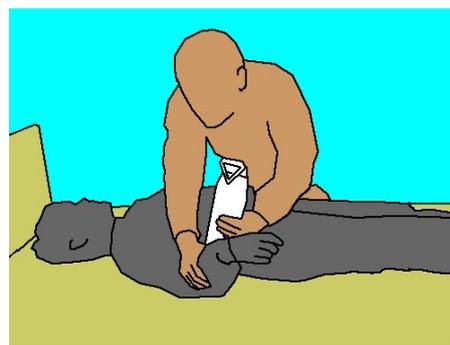
- 1) 頭を持ち上げて、頭の下に上部ベルトを入れます。
- 2) 片方の肩甲骨の下に手を入れて持ち上げ、上部ベルトを足の方向に下ろすように引きます。



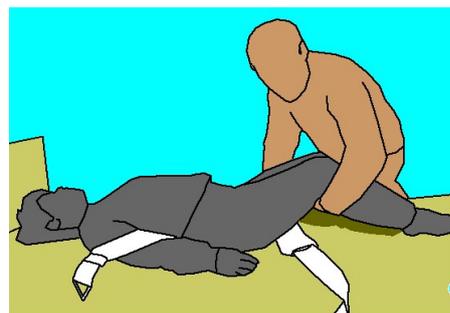
- 3) 反対側も同様の手順で体の下に入れたら、両方を持って下に引きます。背中中央くらいまで引き下げます。



- 4) 腕をベルトの外に出します。左右の長さが同じになるようにします。このバランスが悪いと、吊り上げた時に身体が左右に傾いてしまいます。

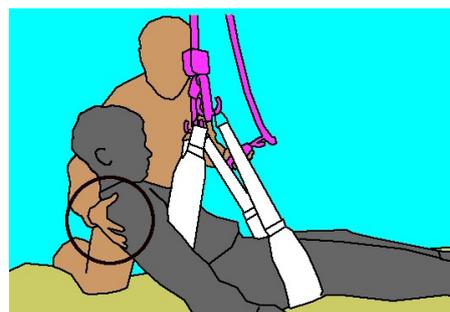


- 5) 膝を立てて、膝の下に下部ベルトを通します。



- 6) 頭を支えながら吊り上げます。

- 7) はずす手順は、装着と逆になります。



3. 点検と保守

3-1. 日常点検

安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項の点検を行ってください。

No.	点 検 項 目
1	吊り金具部の破損やベルト部の摩耗はないか
2	本体及びクッション・パッドに、傷・摩耗はないか
3	本体及びクッション・パッドの縫い目に、ほころびはないか

点検の結果、異常が確認されましたら販売元または発売元にご連絡ください。

3-2. お手入れ

汚れを取る場合は、布に水もしくはうすめた中性洗剤の溶液を浸したのち固く絞ってふき取り、乾いた布でふき取ってください。

強い酸、アルカリ系、塩素系の溶液は絶対に使用しないでください。

ツープースベルトは消耗品です

使い方・洗い方によっては大幅に寿命が異なります。本取扱説明書を充分ご理解した上で、お使いください。



株式会社 **ミクニライフ&オート**

【本社】 〒349-1145 埼玉県加須市間口 456-1

TEL. 0480 (31) 8541 FAX. 0480 (72) 7223